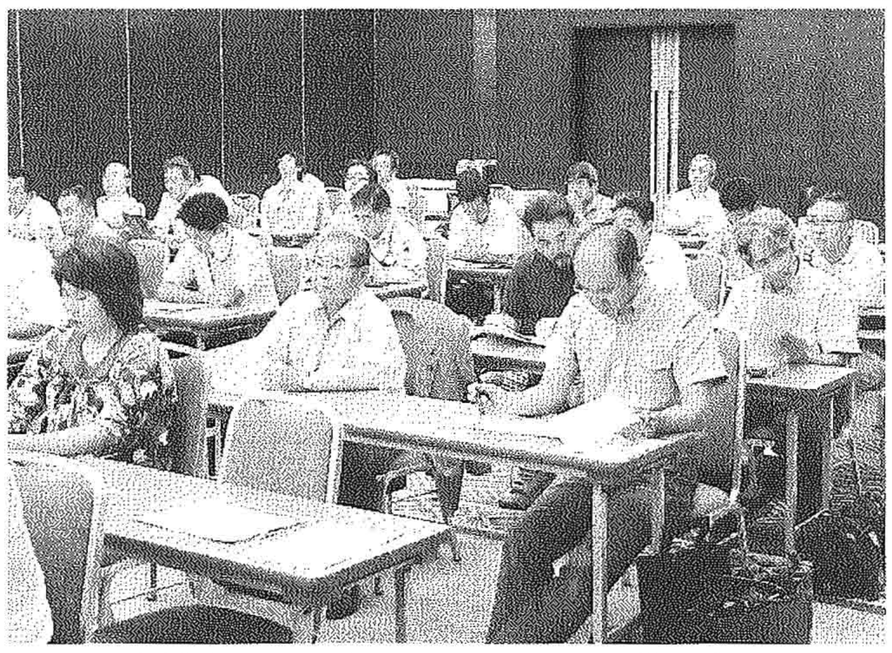
県環境保全協会「KESとEA21」セミナー

環境経営を重点解説



経営体質強化につながるシステムを学ぶ会員＝鹿児島市のマリンパレスかごしまで

県環境保全協会（金子万寿夫会長）は19日、鹿児島市のマリンパレスかごしまで中小企業版環境マネジメントシステム「KESとEA21」セミナーを開いた。会員ら約50人が出席して、企業評価の向上や経営体質強化につながるシステムの理解を深めた。

講師のNPO法人エコサポートTGALの久留正成理事長は、環境経営システムについて比較評価。ISO14001は高い費用が課題であり、中小企業には簡易型のKESやEA21が取り組みやすいことを説明した。

また、EA21の認証取得が20年度県建設工事格付けで加点対象となったことをはじめ、KES等が公共工事・調達で優遇措置があることを紹介。京都府や滋賀県では2年前からグリーン入札条例を施行していることに触れ、「鹿児島市は温暖化防止推進計画を策定しており、近い将来、環境管理事業所でないと取り引きが難しくなることも予想される」と話した。

このあと、KESやEA21の進め方、選択基準について詳説した。

鹿児島市塗装協会、日本塗装工業会県支部

ヒルムAを試験施工

遊覧席ベンチ 温度抑制効果が大

鹿児島市塗装協会（松岡直光会長）、日本塗装工業会県支部（濵[illegible]）は18日、鹿児島市のマリンポートかごしまで、ヒートアイランド現象等の抑制に効果的な塗料として話題を呼んでいる「HIRM（ヒルム）A」の試験施工を実施した。なお、今回の試験は県鹿児島地域振興局建設部鹿児島港支所の協力を得て行われたもの。

＝写真＝。

今回、マリンポートの大型客船発着場奥に整備されたコンクリート製の遊覧用ベンチ（約70m）で試験施工を実施。下地調整から下塗り、上塗りの各作業工程に沿って慎重に塗装を行った。施工後に温度確認を実施したところ、通常の路面が40度だったのに対し、施工した面は約30度と10度近くも路面温度が低く、温度上昇の抑制効果の高さが実証された。

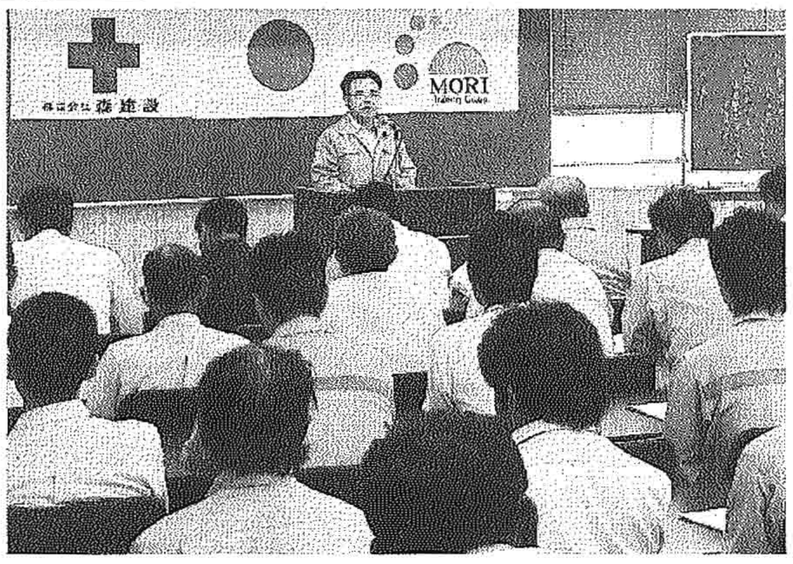
ヒルムAは、ヒートアイランド現象を抑制する手段の一つとして開発されたもので、地球環境にやさしく、作業性に優れた「水性路面用遮熱塗材」。日中の気温が40度を超す夏期の路面温度上昇を約10～15度抑制するとして話題を呼んでいる。また、環境面にも非常に優しい水性塗料で、歩道や駐車場、公園敷地内、工場等にも幅広く利用できるとしている。

鹿児島市塗装協会の松岡会長は「夏場利用するプール等では、ヒルムAを施工することによって裸足のままでも歩行が可能になるなど、利用客の安全確保にもつながっていると聞いています。今後、日中の温度変化などを観測し、その結果の取りまとめを行い、県をはじめ各発注機関へ報告していきたい」と語った。

森建設安全大会

180人が参加 災害撲滅を誓う

(株)森建設（森義久社長、鹿屋市）は19日、鹿屋市輝北町の同社大会議室で19年9月度労働安全衛生大会を開いた。関連会社や社員ら約180人が参加し、労働災害防止や交通事故防止などへの取り組みのほか健康講話を聞き、さらなる安全作業を誓った。大会後は、恒例の献血も行った。



安全への認識を高めてほしいーと挨拶する森社長＝鹿屋市の同社大会議室で

大会冒頭、森社長が「公共・民間それぞれで受注に向け努力していますが、厳しい受注状況にあります。しかし前向きに頑張りたい。さらに安全も重視され、災害撲滅を目指し、今一度認識を高めていただきたい」と挨拶。

続いて、安全管理功績表彰を行った後、大隅曽於地区消防組合が「緊急応急処置方法について」、県社会保険協会の長友ゆかり管理栄養士が「食事と健康」をテーマにそれぞれ講話した。その後、市来廣徳鹿屋警察署交通課長が法令講習、交通事故防止で講話を行い交通災害防止を訴えた。参加者はメモを取るなど緊張した面持ちで熱心に受講した。最後に、全員でゼロ災唱和を行い大会を終えた。

表彰者は次の通り。

功績表彰＝(有)しんばた木工　カゴシマロック(株)

▽優良従業員表彰＝湯前進一　新越義久▽安全衛生優良作業所彰＝内山英夫　有馬稔

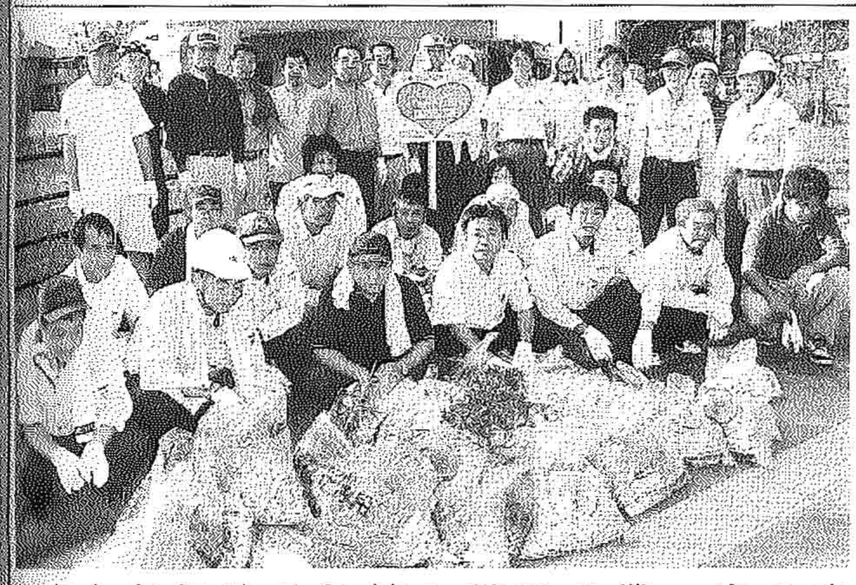
桑木組が合同奉仕作業

創立記念に道路清掃

(株)桑木組（桑木規行社長）は14日、桑木組建友会（会長・末吉博文専出水合同電設社長）、大喜産業(株)（福満秀美社長）と合同で出水駅周辺道路の奉仕作業を実施した＝写真＝。

この奉仕作業は、創立記念日（3日）の節目に毎年実施しているもので、今回は県北薩地域振興局建設部出水支所と協定を締結した「ふるさとの道サポート推進事業」の一環としても実施。

当日は桑木社長をはじめ、従業員や関係者ら40人参加して、県道出水停車場線・春日線のJR出水駅西口から春日橋までの区間385mを清掃。通行量の多い場所でもあることから車や歩行者に十分配慮しながら、駅前周辺や歩道両側のごみ拾いや縁石の隙間から生え出した雑草の除草などを行った。



同推進事業は、決められた区間について日常的な管理と草刈りや植栽の手入れなどを行うことで、地域環境の保全や活力ある地域社会づくりを支援。管理区間には銘板（アルミ製）に管理団体名を記載したサインポールが設置される。

ベストエコドライブコンテスト

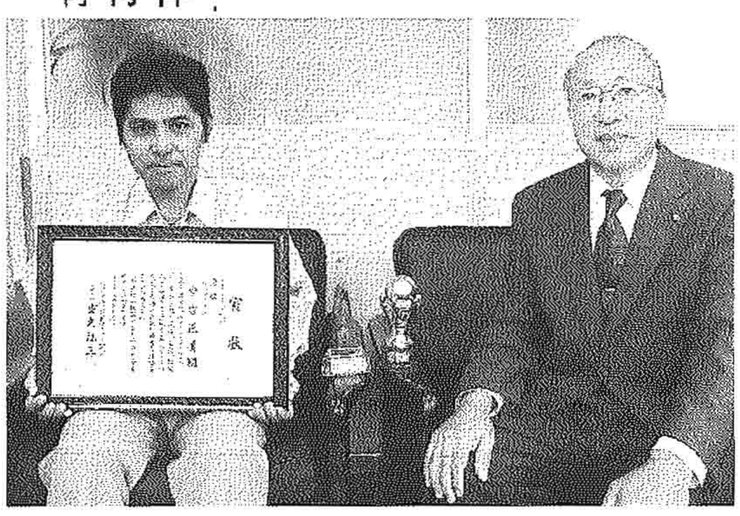
省エネ運転励行 仲吉さん優勝

県トラック協会

県トラック協会が主催した環境や安全に配慮した穏やかな運転「エコドライブ」の技術を競う「ベストエコドライブコンテスト」が9日、鹿児島市谷山港であり10tダンプ部門で(株)サンコーの仲吉正美さんが優勝した。

コンテストは、車両常識等の筆記試験と安全運転、燃費率を審査する実技運転（10tカーゴ、10tダンプ、4tカーゴの3部門）で行われた。今回で3回目。

見事優勝した仲吉さんは、同社に入社して17年、毎日10tの生コン車に乗り活躍している。「試験終了後は、やれるだけのことはやったとの達成感はあったが、いつも運が悪いのであきらめていた。しかし、毎日の始業点検や余裕とゆとりを持ち、相手を思いやる日常の運転結果が優勝につながったのでは」と振り返った。



賞状を手に喜ぶ仲吉さん（左）と木村社長＝志布志市の有明工場応接室で

同社の木村増雄社長は「エコドライバーの育成が環境などにとって、また安全（事故撲滅）、経営改善（輸送コスト低減）に急務となっています。彼の優勝を機会に社員一人ひとりがエコ意識を持ち取り組んでいきたい」と述べた。

曳家（ひきや）工事・解体工事
土木一式工事・建築一式工事
株式会社 大城
県知事許可（特－17）第4087号
鹿児島市宇宿町1955-1　☎(099)275-3600(代)
FAX(099)275-3601番

お手軽で便利な
購読料のお支払いは
自動振替で
鹿児島建設新聞
099-227-5100へ